平成23年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

110 110 1									1						
都道府県名							指定団体等	の指字状況		区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
	都道府県名		木県	市町	市町村類型 I-1		旧た団体寺		歳入総額		19, 063, 037	17, 494, 966	実質収支比率	17. 0	15. 7
							財政健全化等	×	歳出総額		16, 900, 419	15, 484, 577	経常収支比率	83. 2	84. 6
							財源超過 ×		歳入歳出ま		2, 162, 618	2, 010, 389	(※1)	(88.4)	(90.0)
	市町村名	خ ·	くら市	地方交	付税種地 2-	-3	首都	0	翌年度に約	嬠越すべき財源	433, 653	439, 489	標準財政規模	10, 165, 635	9, 992, 228
							近畿	×	実質収支		1, 728, 965	1, 570, 900	財政力指数	0. 75	0. 76
		22年国調(人)	44, 768		 		中部	×	単年度収え	支	158, 065	197, 073	公債費負担比率	12. 6	12. 2
	人口	17年国調(人)	41, 383		産業構造(※5)		過疎	×	積立金		252, 468	356, 912	健全化判断比率		
		増減率 (%)	8. 2	[2	区分 22年国調	17年国調	山振	×	繰上償還3	È	115, 947	31, 898	実質赤字比率	-	-
		24. 03. 31 (人)	43, 882	/	1, 940	2, 222	低開発	×	積立金取詞	崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-
住.	民基本台帳人口	23. 03. 31 (人)	43, 899	牙	9.4	10. 6	指数表選定	0	実質単年原	度収支	526, 480	585, 883	実質公債費比率	9. 8	10. 8
		増減率 (%)	-0.0	<i>/</i> /-	6, 317	6, 439			基準財政	又入額	5, 298, 606	5, 122, 189	将来負担比率	32. 6	47. 4
	面積(km)		125. 46	牙	52次 30.7	30.8			基準財政	需要額	7, 088, 822	6, 930, 030	資金不足比率(※4)		
人	コ密度(人/k㎡)	35		<i>//</i>	12, 328	12, 046			標準税収力	入額等	6, 805, 163	6, 600, 440			
t	世帯数 (世帯)	14, 917		第3次 59.9		57. 7			経常経費	充当一般財源等	8, 548, 568	8, 458, 496			
				職	員の状況				歳入一般見	オ源 等	12, 931, 127	12, 359, 129			
	区分	定数	1人あたり平均		区分	職員数	給料月額	1人あたり平均							
	<u>Ε</u> π	上数	給料月額(百円)		区方	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在	生高	17, 262, 286	16, 860, 181			
	市区町村長	1	6, 300		一般職員	290	916, 980	3, 162	うち公的	勺資金	4, 446, 648	4, 681, 154			
	副市区町村長	1	6, 078	— 般	うち消防職員	-	_		債務負担?	_了 為額(支出予定額)	2, 074, 581	954, 553			
別 職	教育長	1	5, 850	職	うち技能労務職員	22	55, 682	2, 531	収益事業均	又入	-	-			
等	議会議長	1	4, 500	等	教育公務員	3	11, 160	3, 720	土地開発	基金現在高	507, 489	507, 468			
	議会副議長	1	3, 650		臨時職員		_	-	-	財政調整基金	2, 011, 874	1, 759, 406]		
	議会議員	19	3, 350		合計	293	928, 140	3, 168	積立金 現在高	減債基金	1, 236, 973	1, 236, 792			
]	ラスパイレス指数(※6)		104. 5	(96.5)	30 (2/10)	その他特定目的基金	2, 739, 707	2, 472, 658			

項番

会計名

事業会計の一覧

会計名

公営企業(法適)の一覧 会計名 公営企業(法非適)の一覧 項番

関係する一部事務組合等一覧 組合等名 地方公社・第三セクター等一覧 項番

団体名

 $(\times3)$

(1) 一般会計

一般会計等の一覧

(3) 国民健康保険特別会計

(5) 後期高齢者医療特別会計

(6) 水道事業会計

(7) 簡易水道事業特別会計

(8) 公共下水道事業特別会計

会計名

(10) 塩谷広域行政組合 一般会計

(16) さくら市温泉福祉施設管理協会

(2) 氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計

(4) 介護保険特別会計

(9) 農業集落排水事業特別会計

(12) 栃木県市町村総合事務組合 一般会計

(11) 塩谷広域行政組合 塩谷地方ふるさと市町村圏 基金特別会計

(13) 栃木県市町村総合事務組合 特別会計

(14) 栃木県後期高齢者医療広域連合 一般会計

(15) 栃木県後期高齢者医療広域連合 特別会計

(注釈)※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。

※6: ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の	状況 (単位 千円				地方税の	状況 (単位 千円・	%)	
区分	決算額		経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	6, 374, 986	33. 4	6, 216, 795	64. 3	普通税	6, 191, 074	97. 1	88, 728
地方譲与税	233, 043	1. 2	233, 043	2. 4	法定普通税	6, 191, 074	97. 1	88, 728
利子割交付金	11, 823	0. 1	11, 823	0. 1	市町村民税	2, 502, 488	39. 3	88, 728
配当割交付金	7, 879	0.0	7, 879	0. 1	個人均等割	64, 398	1.0	-
株式等譲渡所得割交付金	2, 054	0.0	2, 054	0.0	所得割	1, 903, 432	29. 9	-
地方消費税交付金	396, 957	2. 1	396, 957	4. 1	法人均等割	161, 104	2. 5	26, 680
ゴルフ場利用税交付金	89, 730	0. 5	89, 730	0. 9	法人税割	373, 554	5. 9	62, 048
特別地方消費税交付金	-	_	_	_	固定資産税	3, 274, 337	51.4	-
自動車取得税交付金	53, 507	0.3	53, 507	0.6	うち純固定資産税	3, 263, 771	51. 2	-
軽油引取税交付金	-	_	_	_	軽自動車税	83, 173	1.3	-
地方特例交付金	77, 210	0.4	77, 210	0.8	市町村たばこ税	331, 076	5. 2	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	18, 554	0. 1	18, 554	0. 2	鉱産税	_	-	_
減収補塡特例交付金	58, 656	0.3	58, 656	0.6	特別土地保有税	_	-	_
地方交付税	3, 169, 862	16.6	2, 473, 697	25. 6	法定外普通税	_	-	_
普通交付税	2, 473, 697	13. 0	2, 473, 697	25. 6	目的税	183, 912	2. 9	-
特別交付税	493, 619	2. 6	_	_	法定目的税	183, 912	2. 9	-
震災復興特別交付税	202, 546	1.1	_	_	入湯税	25, 721	0.4	_
(一般財源計)	10, 417, 051	54.6	9, 562, 695	98. 9	事業所税	_	-	_
交通安全対策特別交付金	6, 853	0.0	6, 853	0. 1	都市計画税	158, 191	2. 5	_
分担金・負担金	150, 766	0.8	52, 009	0. 5	水利地益税等	_	-	_
使用料	421, 906	2. 2	19, 132	0. 2	法定外目的税	_	-	_
手数料	84, 741	0.4	_	_	旧法による税	_	-	_
国庫支出金	2, 113, 601	11. 1	_	_	合計	6, 374, 986	100.0	88, 728
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	_	_				
都道府県支出金	1, 132, 080	5. 9	_	_	区分	平成23年度	ш.,	平成22年度
財産収入	47, 498	0. 2	20, 673	0. 2	徴収率 現 計	97. 9	91.0	97. 5 90. 5
寄附金	4, 725	0.0	_	_	I (04) 左 * 計 【中町村氏祝	98. 4	92. 9	97. 9 92. 2
繰入金	17, 355	0. 1	_	_	(%) せ 純固定資産税	97. 3	88. 9	97. 0 88. 6
繰越金	2, 010, 389	10. 5	_	_				
諸収入	826, 572	4. 3	9, 528	0. 1	公営事業等への繰出		東保険事業	会計の状況
地方債	1, 829, 500	9.6	_	_	合計 1,405,697	実質収支		381, 993
うち減収補塡債(特例分)	-	_	_	_	┃ 下水道			352, 327
うち臨時財政対策債	600, 000	3. 1	_	_	┃ 上水道	加入世帯数(世帯	i)	6, 206
歳入合計	19, 063, 037	100.0	9, 670, 890	100.0	簡易水道 903	被保険者数(人)		11, 832
					工業用水道		€税(料)収	
					国民健康保険 206, 260		重支出金	90
					その他 714,511	'ヘヨッ し保険	給付費	231
(注 4月)								

(注釈)	
	ı

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

	歳出の	状況(単	位 千円・%)			
	目的別歳と		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業	業費_	(A)のうち充	当一般財源等
議会費	228, 914	1.4		-		227, 314
総務費	2, 139, 024	12. 7	57,			1, 900, 438
民生費	4, 766, 311	28. 2	307, (2, 240, 520
衛生費	974, 363	5.8	24,	486		842, 063
労働費	138, 233	0.8		-		1, 706
農林水産業費	505, 326	3. 0	94,	317		341, 541
商工費	950, 376	5. 6	23,	554		180, 730
土木費	3, 011, 053	17. 8	2, 129,			1, 292, 375
消防費	597, 587	3. 5	43,			554, 266
教育費	1, 542, 843	9. 1	348,			1, 320, 758
災害復旧費	381, 609	2. 3	313,	_		234, 760
公債費	1, 664, 780	9. 9		_		1, 632, 038
諸支出費	- 1, 304, 700	5.5		_		1, 552, 555
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	16, 900, 419	100. 0	3, 028,	184		10, 768, 509
	10, 300, 413	100.0	3, 020,	104		10, 700, 303
	性質別歳と	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比		¥ 費 充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6, 793, 480	40. 2	4, 705, 319		4, 540, 205	44. 2
人件費	2, 701, 339	16. 0	2, 394, 895		2, 352, 270	22. 9
うち職員給	1, 704, 388	10. 1	1, 419, 901			
扶助費	2, 427, 361	14. 4	678. 386		671. 844	6. 5
公債費	1, 664, 780	9. 9	1, 632, 038		1, 516, 091	14. 8
元利償還金	1, 664, 780	9. 9	1, 632, 038		1, 516, 091	14. 8
内うち元金	1, 427, 395	8. 4	1, 394, 653		1, 278, 706	12. 4
訳 うち利子	237, 385	1.4	237, 385		237, 385	2. 3
試 フラ利子 一時借入金利子	237, 300	1.4	237, 363		237, 300	۷. ۵
	6, 697, 146	20.6	5, 002, 121		4, 008, 363	39. 0
その他の経費		39.6				
物件費	2, 278, 634	13.5	1, 690, 806		1, 519, 693	14. 8
維持補修費	157, 933	0.9	150, 494		150, 494	1.5
補助費等	1, 672, 115	9. 9	1, 497, 640		1, 322, 468	12. 9
うち一部事務組合負担金	923, 667	5. 5	923, 667		841, 207	8. 2
繰出金	1, 347, 192	8. 0	1, 198, 201		1, 015, 673	9. 9
積立金	519, 698	3. 1	453, 299		-	_
投資・出資金・貸付金	721, 574	4. 3	11, 681		35	0. 0
前年度繰上充用金		_				
投資的経費計	3, 409, 793	20. 2	1, 061, 069			
うち人件費	24, 842	0. 1	24, 842			
普通建設事業費	3, 028, 184	17. 9	826, 309			
内うち補助	1, 796, 594	10.6	404, 399			
I _{=□} I フ り 早 独	1, 195, 209	7. 1	399, 428			
┃┅┃災害復旧事業費	381, 609	2. 3	234, 760			
失業対策事業費	_	_	-			
歳出合計	16, 900, 419	100.0	10, 768, 509			
			· ·			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

他会計等 からの 繰入金 地方債 現在高 会計名 備考 歳入 形式収支 実質収支 歳出 1 一般会計 2,028 18,594 16,566 1,678 15,495 560 1,767 2 氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計 695 128 実質赤字額

計 一般会計等(純計) 17,262 19,160 16,997 1,729 2,163 ※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政	伏況(単位:百万円)

	会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1	国民健康保険特別会計	4,475	4,093	382			70 IL 1-1			
2	介護保険特別会計	2,090	2,052	38	38	320				
3	後期高齢者医療特別会計	279	275	4	4	74				
4	水道事業会計	603	557	46	1,451	95	5,426	195		法適用企業
5	簡易水道事業特別会計	77	51	26	26					法非適用企業
6	公共下水道事業特別会計	997	943	54	53	396	6,621	5,648		法非適用企業
7	農業集落排水事業特別会計	46	41	5	5	29	338	314		法非適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30					***************************************					
31										
32										
33										
3/										
32										
35	公営企業会計等						12,385	6,157		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 塩谷広域行政組合 一般会計	2,921	2,796	125	98		1,376	478	
2 塩谷広域行政組合 塩谷地方ふるさと市町村圏基金特別会計	17	8	9	9	1 1 1 1 1 1 1 1 1			
3 栃木県市町村総合事務組合 一般会計	14,174	14,123	51	51	1,557			
4 栃木県市町村総合事務組合 特別会計	32	29	3	3	8			
5 栃木県後期高齢者医療広域連合 一般会計	2,267	2,250	17	17	1,151			
6 栃木県後期高齢者医療広域連合 特別会計	171,684	168,545	3,139	3,139	2,431			
7								
8					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				3,317		1,376	478	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

さくら市温泉福祉施設管理協会

経常損益

当該団体 からの 出資金

純資産又は 正味財産

当該団体 からの 補助金

平成23年度

当該団体 からの 債務保証に係る 貸付金 貴務残高 当該団体からの 損失補償に係る 債務残高 負担見込額

栃木県さくら市

6 7								
8								
9		 			 			
0								
1								····
2								······································
3 4								
5								
6								
7								***************************************
8								······································
9		 ***************************************		•	 ***************************************			
1								····
2								
3								
4		 			 			
5 6								,0000
7						•		····
8		 		***************************************			•	
9								
0								
2								
3				***************************************	***************************************	***************************************		
4								
5								***************************************
6								
8								
19								
0								
1								(m = m m = m m = m m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m = m m =
3						•		·····
4					***************************************	***************************************		······································
5								***************************************
6								
7								
·8 ·9								
50						•		······································
1								
52								w
i3 i4								AAA00000000000000000000000000000000000
55								
6								
57								<i></i>
i8								······································
0								
1								
2								
3								
5				***************************************				
6								
7								
8								
9								
0								····
2								
3								
4								
5 6								
6 7								***************************************
8								
9								
30								
31								
	」 也方公社・第三セクター等		3					

費負担の状況	将来負担の状況

(C)-(D)

(単年度)

(3ヵ年平均)

8,553,636

11.0

12.3

8,908,787 9,052,356

10.8

9.2

9.8

公債費負担の状況					将来負担の	状況												
実質公債費比率 (⁻	千円•%)										#	쯝来負担比 ≌	车 (千円	•%)				
区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		区分	}	2	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比
元利償還金	1,637,919	1,571,508	1,548,833	17.1	将来負担額	一般会計等に係る	る地方債の現在高	5	16,467,611	16,860,181	17,262,286	190.7	7 PFI	事業に係るもの	_	_	_	
減債基金積立不足算定額	_	_	-	_		債務負担行為に基	基づく支出予定額	i l	148,693	104,847	88,162	1.0) いオ	oゆる五省協定等に係るもの	_	_	-	
準 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	_	_	-	-		公営企業債等繰入	入見込額		6,660,499	6,414,500	6,157,046	68.0	国国	営土地改良事業に係るもの	_	_	_	
│ 元 │ │ _利 │公営企業債の元利償還金□対する繰入金	406,976	398,607	381,279	4.2		組合等負担等見	込額		706,243	557,471	478,062	5.3	3 債 森村	林総合研究所等が行う事業に係るもの	_	_	-	
償 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	105,969	130,017	127,801	1.4		退職手当負担見	込額		2,981,010	2,801,695	2,703,040	29.9	務 負 地フ	ち公務員等共済組合に係るもの	_	_	-	
金 金 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	57,729	43,846	34,873	0.4		設立法人等の負債	責額等負担見込額	預	—		_	-	- 担 依頼	頁土地の買い戻しに係るもの	_	_	_	
一時借入金の利子	_	_	-	-		連結実質赤字額			-	-	_	-	1」 - │ 為	≷福祉法人の施設建設費に係るもの	_	_	-	
合計 (A)	2,208,593	2,143,978	2,092,786		1	組合等連結実質を	赤字額負担見込額	預	_	-	_	-	- 損約	Է補償・債務保証の履行に係るもの	_	_	-	
内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	1	合計		(E)	26,964,056	26,738,694	26,688,596] 引き	受けた債務の履行に係るもの	_	_	-	
PFI事業に係るもの	_	_	-	_	充当可能	充当可能基金			3,936,341	4,693,096	5,138,459	56.8	3 その)他上記に準ずるもの	148,693	104,847	88,162	1
いわゆる五省協定等に係るもの	_	_	_	_	財源等	充当可能特定歳ん	λ		2,200,608	2,305,498	2,318,130	25.6	6	公共下水道事業特別会計	6,172,688	5,875,279	5,647,635	62
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	_	_	-	_		基準財政需要額第	算入見込額		14,503,916	15,508,916	16,276,643	179.8		農業集落排水事業特別会計	324,149	322,602	314,086	3
預	_	_	-	-		合計		(F)	20,640,865	22,507,510	23,733,232		了 企業債 」繰入見返	等 人類 水道事業会計	163,662	216,619	195,325	2
負 出会福祉法人の施設建設費に係るもの	_	_	-	-	将来負担比	率((E)-(F))/((C	:)-(D)) × 100		73.9	47.4	32.6		一 小木ノくりじた	簡易水道事業特別会計	_	-		
行 損失補償・債務保証の履行に係るもの	_	_	-	_				•	•	•			1	その他の会計	_	_	_	
為 引き受けた債務の履行に係るもの	_	_	-	_										地方道路公社に係る将来負担額	_	_	_	
その他上記に準ずるもの	57,729	43,846	34,873	0.4	超	建全化判断比率	平成23年度	早期健全化	送準 財政	攻再生基準			公社・		_	_	_	
利子補給に係るもの	_	_	-	-	実質	重赤字比率	_		13.31	20.00				その他第三セクター等に係る将来負担額	_	_	-	
特定財源の額 (E	3) 208,440	231,655	145,093		連続	吉実質赤字比率	-		18.31	30.00				•	•	,	,	
標準財政規模(C	9,615,503	9,992,228	10,165,635		実質	質公債費比率	9.8		25.0	35.0								
算入公債費等の額(ロ	1,061,867	1,083,441	1,113,279		将来	E 負担比率	32.6		350.0									
$(\mathbf{C})-(\mathbf{C})$	8 553 636	8 908 787	9 052 356		1 🗀	<u> </u>		•										

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

43,882 人(H24.3.31現在) 125.46 km² 19.063.037 千円 9.8 % 16,900,419 千円 32.6 % 質収 1,728,965 千円 I - 1 H20標準財政規模 10, 165, 635 千円 H23 I — 1 地方債現在高 17. 262. 286 千円

→ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

400.0

600.0

1000.0

1200.0

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力 財政力指数 [0.75] 1.02 1.00 0.80 0.60 0.40 0.42 0.46 0.43 0.20 0.19

類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 0.51 8/172 0.73

財政力指数の分析欄

ここ数年間はおおむね横ばいで推移してきたが、平成23年度は前年度比 0.01ポイント低下した。

今後、滞納整理を含む市税の徴収強化(毎年度0.5%増)等の取組みを通 じて財源の基盤強化に努める。



H21

H22

H23

108.8

H23

H19

110.0

120.0

H20

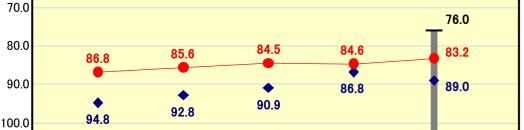
H20



経常収支比率の分析欄

新規採用職員の抑制や起債の繰上償還の実施等により比率は減少傾向 にあり、平成23年度は前年度比1.4ポイント低下した。

現在、すべての事務事業について行政評価制度を導入しており、今後も優 先度や効果の低い事業については廃止や縮小を求めることで経常経費の 削減を図っていく。



H21



H22



栃木県平均 類似団体内順位 全国平均 111,207 18/172 119,477

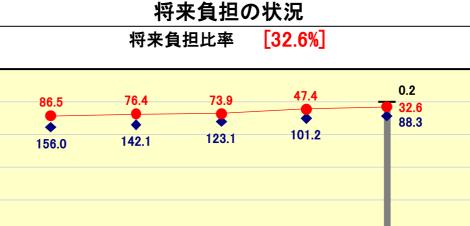
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

新規採用の抑制による人件費の削減に努めたものの、児童センターの運 営委託やホームページのリニューアル業務、国の緊急雇用対策などの委託 料の増加が影響し、前年度比1,797ポイント増加している。

今後、行政評価を進めて実施可能な部分については廃止や削減の検討を 重ねてさらなるコスト削減を図っていく。

平成23年度

栃木県さくら市



類似団体内順位 25/172

全国平均

栃木県平均 *69.2* 35.4

将来負担比率の分析欄

前年度と比べ14.8ポイント改善しており、全国平均や類似団体平均を下 回っている。主な要因としては、普通交付税や臨時財政対策債発行限度額 の増加等に伴う標準財政規模の増や充当可能な基金残高の増が挙げられ

今後も公債費等の義務的経費の削減を進め、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況

H21

H22

H20

H19

実質公債費比率 [9.8%]



類似団体内順位 20/172

891.3

H23

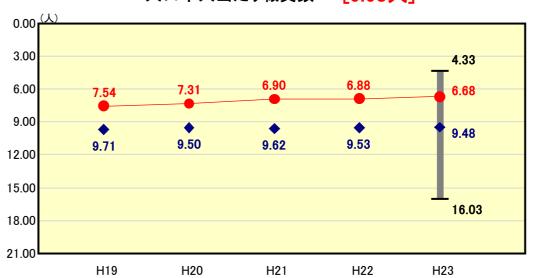
全国平均 9.9 栃木県平均

実質公債費比率の分析欄

前年度の10.8%と比較すると1.0ポイント改善している。全国平均や類似団 体平均を下回っているものの、依然として県平均を上回っている状態である。 今後は、予定されている新規の投資的事業についても取捨選択を行い、 起債発行を抑制するとともに財源として合併特例債を有効活用することによ り比率の低下を図っていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.68人]



人口千人当たり職員数の分析欄

類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 8/172 7.17 6.94

新規採用の抑制策(技能労務職については退職者の不補充、一般行政職 については退職者の2分の1程度の新規職員採用)に努めてきたため、前年 度比0.2ポイント改善し、類似団体平均・全国平均・県平均を下回っている。 今後も引き続き職員の定数管理に努め、適正な定員を維持していく。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [104.5]

80.0 82.4 90.0 100.0 97.0 104.7 110.0 111.0

H21

H23

H22

H20

類似団体内順位 73/172

全国市平均 全国町村平均 106.9

ラスパイレス指数の分析欄

前年度比7.7ポイント悪化している。原因としては、国家公務員給与が東日 本大震災の復興財源捻出のための特例措置により減額になったことに伴う ものである。

103.3

今後も給与構造の改革とともに職員の定数管理・給与の適正化に努め、 給与水準のバランスをとっていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

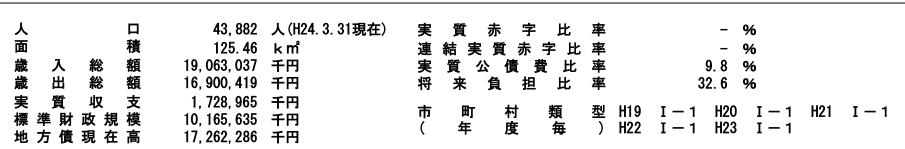
11.5

18.7

H23

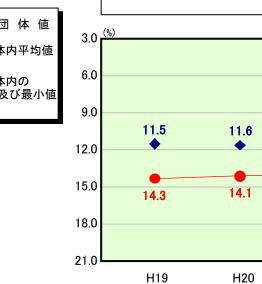
栃木県さくら市

経常収支比率の分析



◆ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



155/172

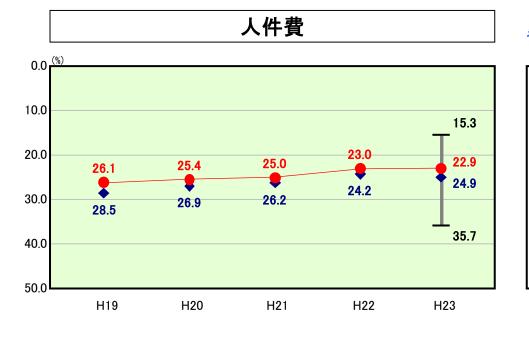
全国平均 13.1 栃木県平均 14.0

物件費の分析欄

類似団体内順位

前年度の15.2%と比較すると0.4ポイント低下しているが、類似団体平 均・全国平均を大きく上回っている。原因としては、指定管理者制度(平 成24年3月31日現在7業務)により、職員人件費等から委託料(物件費)へ のシフトが起きていることや、児童センターの運営業務委託、国の緊急経 済対策にかかる業務委託、ホームページリニューアルの業務委託等の ため、物件費の増加が起きているためである。

今後も可能なものは順次民間委託を進めていく予定であるが、必要性 について精査し、安易な業務委託を増やさないように努める。



類似団体内順位

人件費の分析欄

件費の削減に努める。

全国平均 25.4

新規採用の抑制による人件費の削減の継続により、前年度比0.1

今後も引き続き定員管理・給与の適正化等の取組みを通じて人

ポイント改善しており、類似団体平均・全国平均を下回っている。

栃木県平均 26.6

補助費等

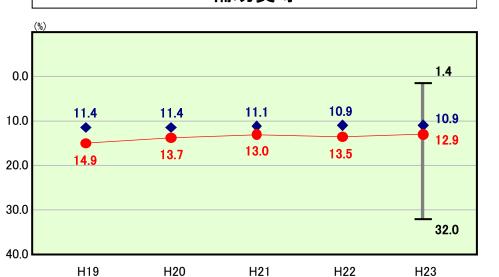
H21

物件費

11.5

15.2

H22



類似団体内順位 114/172

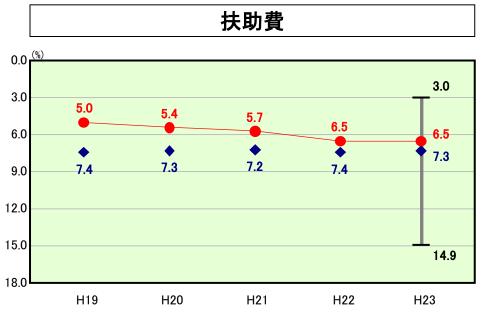
全国平均 10.1

栃木県平均 10.1

補助費等の分析欄

前年度比0.6ポイント低下しているが、全国平均・類似団体平均を 上回っており、依然として高い水準にある。要因としては一部事務 組合に対する負担金が多額になっていることが挙げられ、特に消 防費・清掃費に係る負担金が大部分を占めている。

現在、3年に1度補助金審議会を実施しており、適正な補助金支 出へ向けて段階的削減や廃止も含め検討を進めていく。



55/172

類似団体内順位

全国平均 10.5

栃木県平均

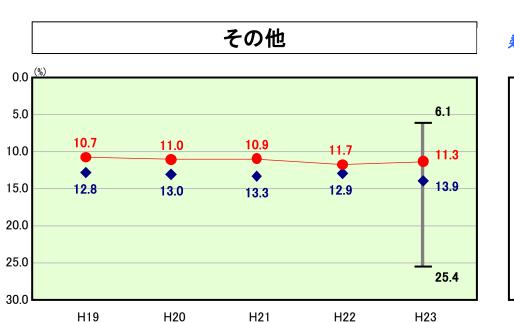
栃木県平均

9.2

扶助費の分析欄

前年度から横ばいであり、類似団体平均・全国平均を下回ってい るが、ここ数年間で見ると増加傾向になっている。原因としては、生 活保護費や児童医療費助成等による児童福祉費の増加等が挙げ

今後も施策の現状分析を続け、コストの削減に努める。

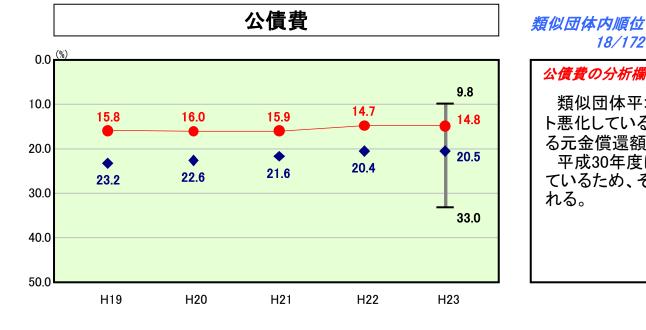


類似団体内順位 31/172 全国平均 12.2 栃木県平均 12.6

その他の分析欄

前年度比0.4ポイント低下しており、全国平均・類似団体平均を下 回っている。

今後も下水道事業等への基準外繰出の削減を図ることなどによ り、できる限り普通会計の負担を減らすように努める。



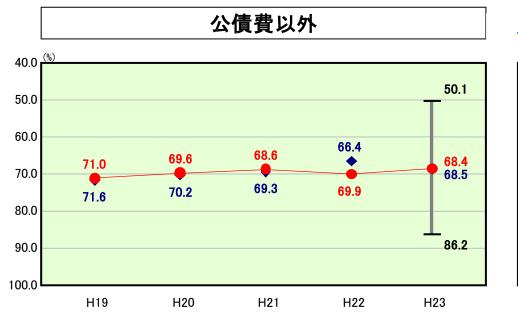
公債費の分析欄

18/172

類似団体平均や全国平均を下回っているが、前年度比0.1ポイン ト悪化している。原因としては、合併特例債や臨時財政対策債に係 る元金償還額の増加が影響している。

全国平均

平成30年度に合併特例債を中心に元金償還のピークが見込まれ ているため、それまでは非常に厳しい財政運営になることが予想さ れる。



類似団体内順位 *79/172*

全国平均

栃木県平均 *72.5*

公債費以外の分析欄

前年度比1.5ポイント低下しており、類似団体平均を下回っている。 この原因としては、公債費の比率が上がり、物件費の比率が下 がったため相対的に下降したためである。

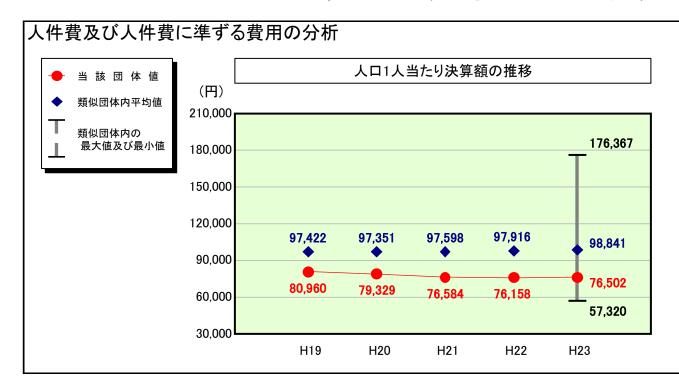
3, 357, 068

76, 502

98, 841

▲ 22.6

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



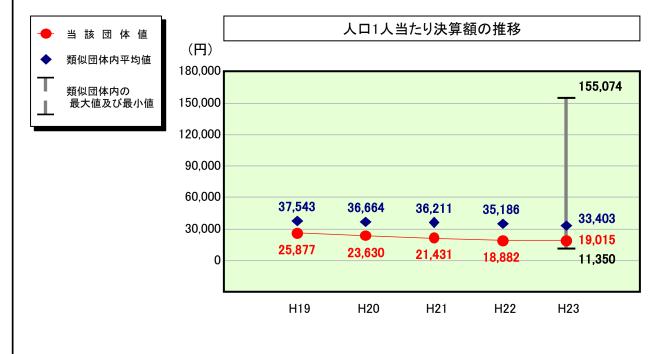
人件費及び人件費に準ずる費用 人口1人当たり決算額 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 当該団体決算額 (千円) 人件費 2, 701, 339 61, 559 86, 703 **▲** 29.0 賃金(物件費) 372, 737 8, 494 6, 952 22. 2 一部事務組合負担金(補助費等) 472, 239 10, 762 9, 379 14. 7 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 771 3, 525 1, 738 84, 798 **▲** 45. 2 566 24, 842 **▲** 67.4 **298**, 887 **▲** 6,811 **▲** 10, 227 **▲** 33.4 ▲退職金

参考

合計

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6. 68	9. 48	▲ 2.80
ラスパイレス指数	104. 5	104. 7	▲ 0.2

|公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	1, 548, 833	35, 295	66, 965	▲ 47.3
(繰上償還額等を除く)	1, 540, 655	33, Z93	00, 900	4 7.5
積立不足額を考慮して算定した額	_	_	_	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの	_	_	44	_
(年度割相当額)			44	
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に	381, 279	8, 689	17, 373	▲ 50.0
充てたと認められる繰入金	301, 219	0, 009	17, 373	▲ 30.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる	127, 801	2, 912	4, 019	▲ 27.5
補助金又は負担金	127, 001	2, 912	4, 019	▲ 21.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	34, 873	795	1, 904	▲ 58.2
一時借入金利子			10	
(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	_	_	10	_
▲特定財源の額	▲ 145, 093	▲ 3, 306	▲ 4, 681	▲ 29.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として	A 1 112 270	A 25 270	▲ 52, 232	▲ 51.4
普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1, 113, 279	▲ 25, 370	▲ 32, 232	▲ 31.4
合計	834, 414	19, 015	33, 403	▲ 43. 1
ツェは24年度中に主味せる併した団体で、合併並の団体でもの決策に	オズノ中低ハ佳弗ル	本ナ笠山 レマいわ	10日はについては	ガニコも主記し

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析 人口1人当たり決算額の推移 (円) 140.000 120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 H19 H20 H21 H22 H23 ── 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値

普通建設事業費

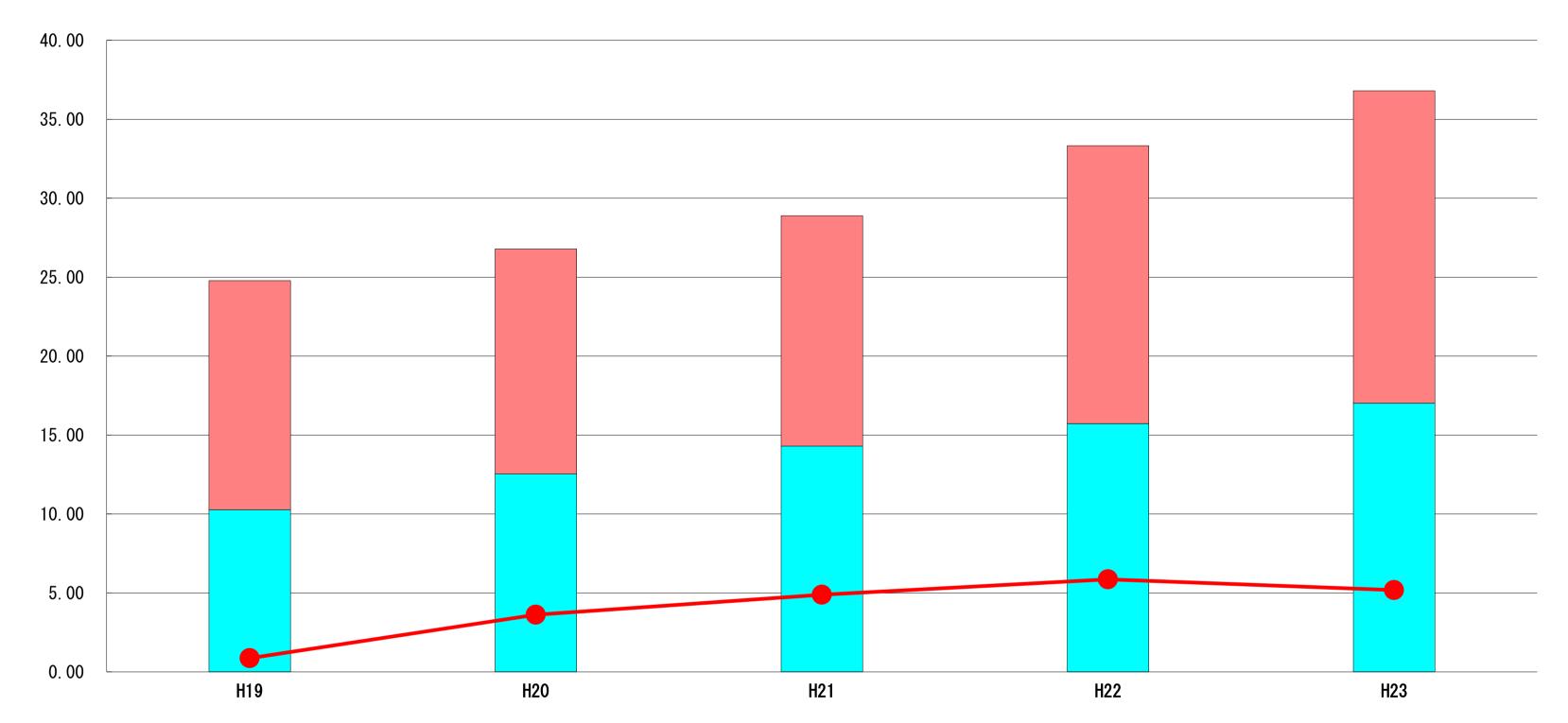
		当該団体決算額	人口1人当たり決算額				
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) - (B)
H19		2, 173, 873	50, 745	33. 9	58, 137	▲ 9.6	43. 5
	うち単独分	993, 845	23, 200	▲ 1.5	29, 406	▲ 13. 9	12. 4
H20		2, 359, 184	54, 587	7. 6	61, 050	5. 0	2. 6
	うち単独分	1, 548, 028	35, 818	54. 4	31, 167	6. 0	48. 4
H21		4, 858, 393	110, 970	103. 3	76, 282	25. 0	78. 3
	うち単独分	3, 454, 548	78, 905	120. 3	41, 092	31. 8	88. 5
H22		2, 502, 386	57, 003	▲ 48.6	78, 670	3. 1	▲ 51.7
	うち単独分	974, 332	22, 195	▲ 71.9	38, 094	▲ 7.3	▲ 64. 6
H23		3, 028, 184	69, 007	21. 1	67, 201	▲ 14.6	35. 7
	うち単独分	1, 195, 209	27, 237	22. 7	35, 210	▲ 7.6	
過去5年間平均		2, 984, 404	68, 462	23. 5	68, 268	1.8	21. 7
	うち単独分	1, 633, 192	37, 471	24. 8	34, 994	1. 8	23. 0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

栃木県さくら市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高	14. 52	14. 24	14. 59	17. 61	19. 79
実質収支額	10. 26	12. 54	14. 29	15. 72	17. 01
実質単年度収支	0. 86	3. 62	4. 88	5. 86	5. 18

分析欄

財政調整基金については、市税や地方交付税等の増加に伴い、その余剰金を積み増しをすることができたため、平成23年度末では標準財政規模比で19.79%、前年度比2.18%の増加となった。

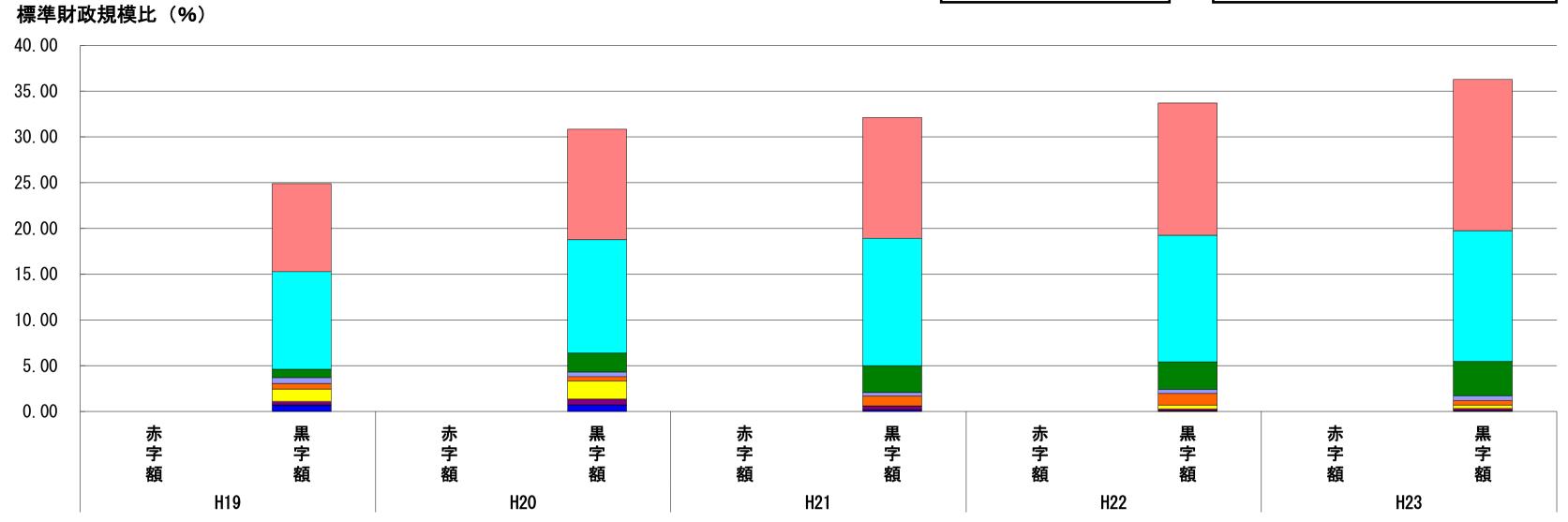
実質収支や実質単年度収支については、市税や地方交付税等の歳入の伸びと、 繰上償還に伴う公債費の減額や人件費削減などの歳出の減により、それぞれの 数値が昨年度を上回った。

平成26年度で普通交付税の合併算定替がなくなるため、今後は毎年度5億程度 の減収が見込まれる。今後の厳しい財政運営への対応として財政調整基金の計 画的な積み増しを検討していく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

栃木県さくら市



煙淮	加相	規模	H	(%)
1元二	אבע ועא	、人丌. 竹夫		(70)

年度 会計	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計	9. 63	12. 06	13. 19	14. 45	16. 51
水道事業会計	10. 66	12. 38	13. 91	13. 83	14. 27
国民健康保険特別会計	0. 92	2. 09	2. 90	2. 99	3. 76
公共下水道事業特別会計	0. 62	0. 51	0. 39	0. 45	0. 52
氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理 事業特別会計	0. 62	0. 47	1. 10	1. 27	0. 50
介護保険特別会計	1. 33	1. 97	0. 02	0. 42	0. 37
簡易水道事業特別会計	0. 38	0. 62	0. 39	0. 20	0. 26
農業集落排水事業特別会計	0. 06	0. 03	0. 03	0. 04	0. 04
その他会計(赤字)	_	_	_	_	_
その他会計(黒字)	0. 68	0. 71	0. 17	0. 05	0. 04

分析欄

すべての会計において黒字化している。

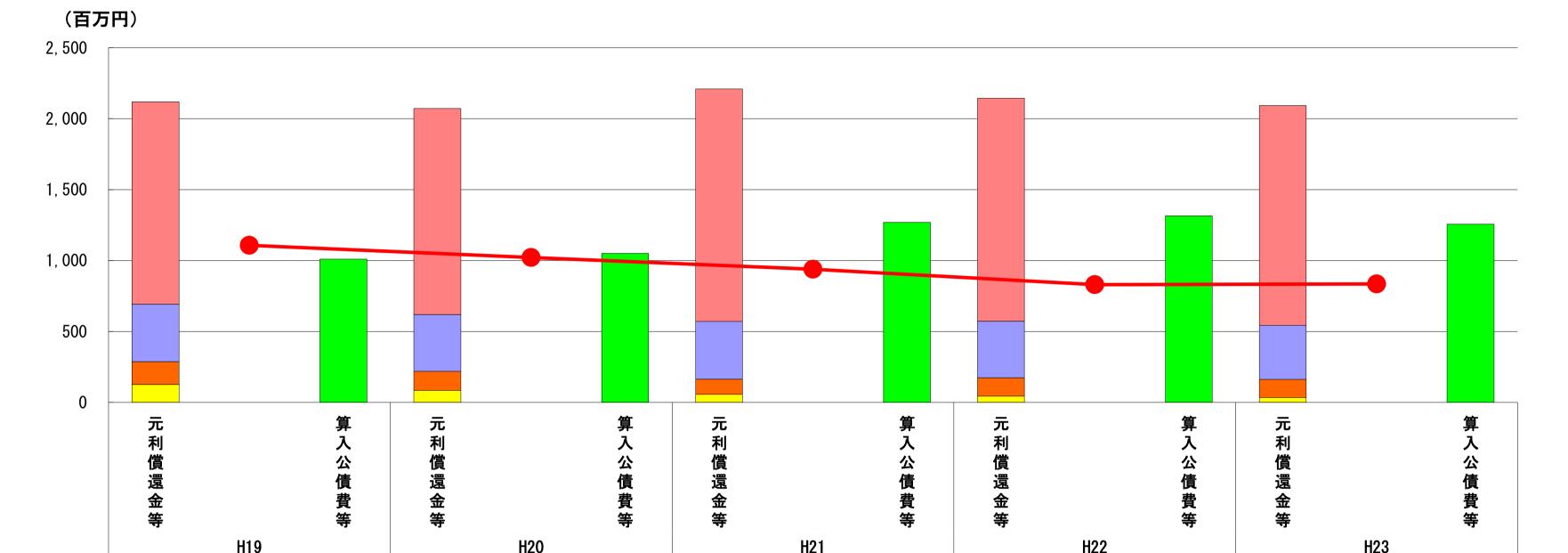
今後も市税や各種保険料・使用料等の歳入確保と、全ての事務事業の精査 を引き続き行うことにより徹底的な歳出削減を行い、赤字化しないように健全 な財政運営に努める。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

栃木県さくら市



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
	元利償還金		1, 426	1, 452	1, 638	1, 572	1, 549
	減債基金積立不足算定額		_	-	-	-	_
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		_	-	1	-	_
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		406	401	407	399	381
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金	等	160	134	106	130	128
	債務負担行為に基づく支出額		127	85	58	44	35
	一時借入金の利子		_	-	1	1	_
算入公債費等(B)	算入公債費等		1, 011	1, 050	1, 270	1, 315	1, 257
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1, 108	1, 022	939	830	836

分析欄

(百万円)

実質公債費比率の分子は前年度比6百万円の増となっている。

繰上償還を実施したこともあり、元利償還金は昨年 度に比べ23百万円減少した。また、債務負担行為に 基づく支出額も減少している。

算入公債費等の減少は元利償還に係る特定財源の 減少が影響している。

今後は予定されている新規の投資的事業について も取捨選択を行い、起債発行を抑制するとともに財源 として合併特例債を有効活用することにより比率の低 下を図っていく。

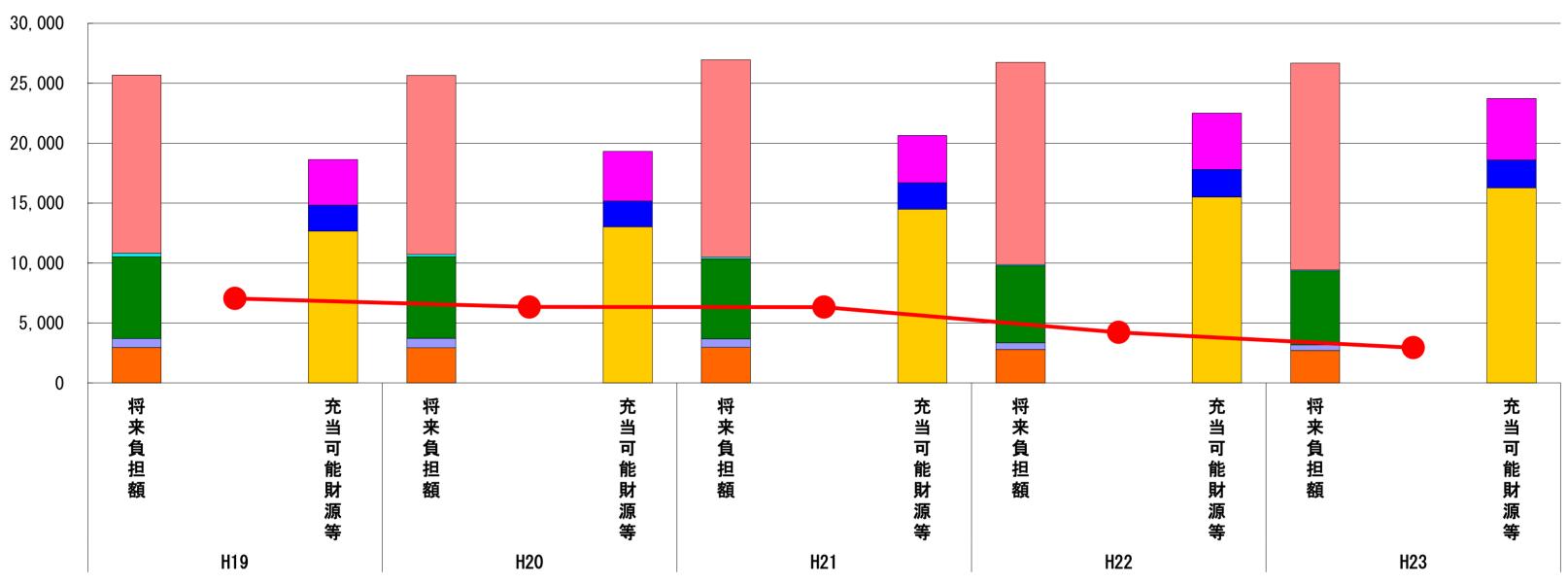
- ※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。
- ※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。
- ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

栃木県さくら市

(百万円)



•	_	_	_	•
	_	_		1

分子の構造	年度	H19	H20	H21	H22	H23
	一般会計等に係る地方債の現在高	14, 872	14, 918	16, 468	16, 860	17, 262
	債務負担行為に基づく支出予定額	291	206	149	105	88
	公営企業債等繰入見込額	6, 822	6, 793	6, 660	6, 415	6, 157
将来負担額(A)	組合等負担等見込額	733	802	706	557	478
行不負担領 (A)	退職手当負担見込額	2, 973	2, 937	2, 981	2, 802	2, 703
	設立法人等の負債額等負担見込額	_	ı	1	_	-
	連結実質赤字額		1	1	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	_	-	1	-	-
	充当可能基金	3, 817	4, 150	3, 936	4, 693	5, 138
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	2, 161	2, 148	2, 201	2, 305	2, 318
	基準財政需要額算入見込額	12, 667	13, 020	14, 504	15, 509	16, 277
(A) - (B)	一 将来負担比率の分子	7, 046	6, 340	6, 323	4, 231	2, 955

分析欄

将来負担比率の分子は、前年度比1,276百万円の減となっている。

合併特例債や臨時財政対策債の発行により地方債残 高は増加しているが、公営企業等繰入見込額や退職手 当負担見込額の減額により将来負担額全体としては減 少している。

また、充当可能基金や基準財政需要額参入見込額の 増額が充当可能財源等の増加に影響している。

今後の投資的事業の実施にあたっては、合併特例債 など交付税措置の有利な地方債を活用していくととも に、財政調整基金や減債基金など基金の計画的な積立 に努めていく。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。